

令和6年度第4回自立支援協議会テーマ別部会
高次脳機能障がいのある方への就労及び社会参加支援について 議事要旨

1. 開催日時 令和6年12月25日（水） 14時～15時30分

2. 開催場所 まちづくり活動プラザ 1階会議室

3. 出席者 (委員) *団体名のみ記載

(医) 城東桐和会、(株) 徳正、(特非) いちされん、(特非) タオ、

(福) 佑啓会、(労協) ワーカーズコープ・センター事業団、障がい事業課

(事務局)

浦安市基幹相談支援センター

4. 議事次第

1. 開会

2. 議題

(1) 第3回テーマ別部会の振り返り

(2) リーフレットの内容検討について

(3) 今後のスケジュール

3. 閉会

5. 配布資料

議題2資料1 リーフレット内容案

議題2資料2 リーフレットレイアウト案

議題2資料3 イラスト案

6. 議事要旨

(1) 第3回テーマ別部会の振り返り

■説明 (事務局)

第3回テーマ別部会（高次脳機能障がい）の報告を行った。

■主な意見

特になし。

(2) リーフレットの内容検討について

■説明 (事務局)

・担当箇所について各委員が作成したリーフレット案について説明を行った。

■主な意見

〈表紙〉

・表紙に記載する吹き出しの内容として、よく聞かれる「言葉がうまくでてこなくなった」「物の使い方がわからなくなったり」を入れることで対象者の興味を引くことができるのではないか。

- ・表紙に高次脳機能がいという言葉がない方が、手に取りやすいのではないか。まずは手に取ってもらうために、表紙には「高次脳機能障がい」という言葉は入れないほうがいい。
- ・障害と障がいの表記については、市の取り扱い方にのっとり、障がいの表記とする。

〈高次脳機能障がいについての説明〉

- ・脳のどの部分を受傷したのかにより症状は異なるため、どんな症状があるのか、イラストと説明文を追加した方がわかりやすくていい。

〈裏表紙〉

- ・手に取った方が簡単にできるチェックリストを入れると、自分または周りにいる人が高次脳機能障がいか気づくことができる。
チェック項目は、15項目程度をリスト化するのがいい。

〈見開きページ〉

- ・受傷から入院よりも、退院後の在宅生活が始まった後の方がより困り感が多いため、リーフレットを手に取ってもらうのもこの時期になることから、退院後の生活の方の内容を厚くする方が良いだろう。
- ・支援機関相談先リストを複数挙げることで、どこにいっても相談窓口があることをわかってもらえるのではないか。相談窓口として、以下を掲載するした方がよい。

福祉サービス：基幹相談支援センター、障がい事業課

就労：浦安市障がい者就労支援センター、障害者就業・生活支援センター（浦安・市川圏域）

医療：タムス浦安病院の高次脳機能障がい相談窓口

（3） 紀イラスト

- ・手に取る方の年齢層に合わせて、人型のイラストを採用。

（3） 今後のスケジュール

■説明（事務局）

- ・各項目について、担当者が次回までに修正することとした。

■主な意見

特になし。